

市場価格の安定化に期待!

2024年4月から本格始動する 「容量市場」とは?



POPONEN+CINNAMOROLL
©2024 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL NO.L640409

容量市場とは、将来にわたる電力の供給力を確保する市場のことです。あらかじめ必要な電気の供給力を確保することにより、中長期的に電気の市場価格を安定化させる役割を持っています。また2024年4月から、容量拠出金制度が導入されることとなりました。なぜ、この制度が家庭の電気料金にも影響するのでしょうか。詳しく見ていきましょう。

容量市場が生まれた背景

発電所の老朽化に伴い、これまで緊急時にのみ活用していた発電所の廃止が増加しています。また、発電効率の悪化により採算性の問題から、供給力としては減少化が今後も進んでいく見通しです。過去には、老朽化した発電所の維持管理が十分ではなく、需給ひっ迫時に電力を供給できず市場価格が高騰した背景がありました。このような事態を防ぐために、容量市場は創設されました。欧州連合（EU）諸国やアメリカでも同様に容量市場制度が導入されています。

容量市場の役割は?

容量市場は、下記のような役割を果たしています。

- ①発電所の建設が適切なタイミングでおこなわれることで、将来の供給力をあらかじめ確実に確保すること。
- ②供給力の確保によって電力価格の安定化を実現し、電気事業者の安定した事業運営や電気料金の安定化などの消費者メリットをもたらすこと。

容量市場の容量市場本格運用開始されることによるメリットは?

中長期的な視点から、供給力の減少に伴う卸電力市場の価格の高止まりを抑制する効果が期待されます。そのため、市場価格連動型プランの料金安定化のメリットが期待されます。

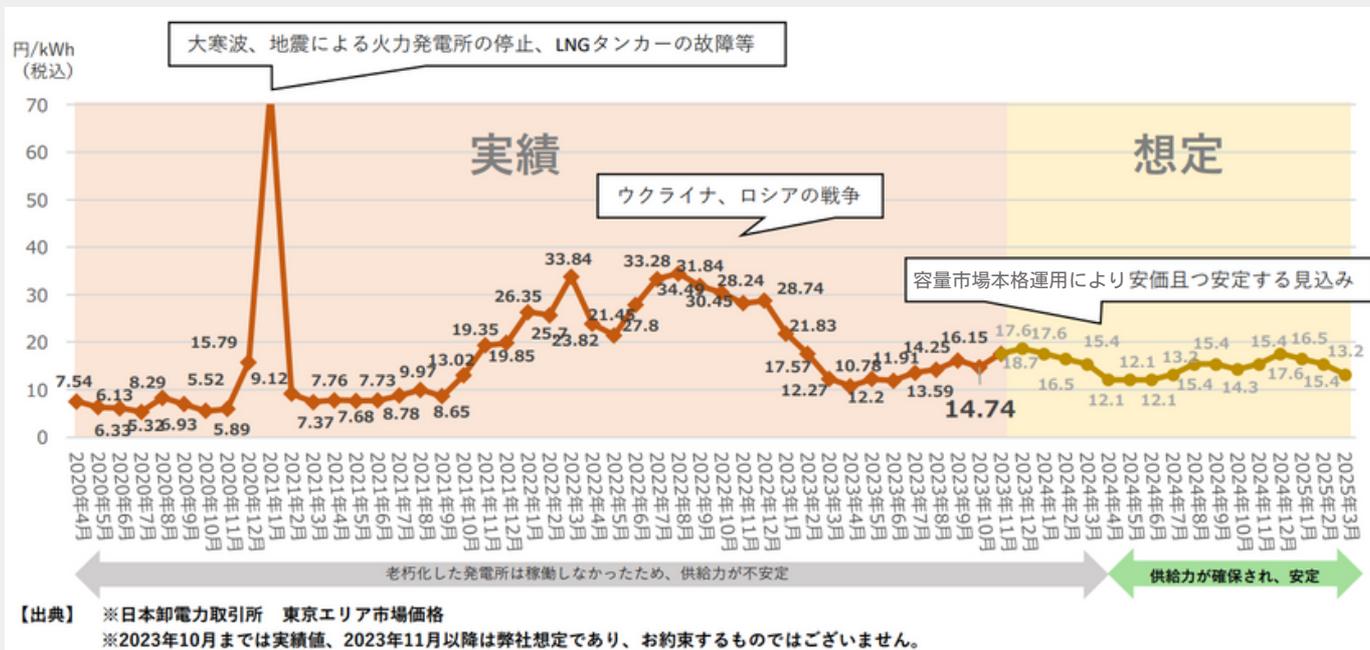
電気料金はどうなるの?

2024年4月よりこの容量市場を維持するために導入される容量拠出金制度が創設されることを受け、全国の小売電気事業者は供給する電力の規模に応じて「容量拠出金」を追加的に負担することとなりました。市場価格の高騰を抑えるために必要な費用であり、「容量拠出金等料金」として、お客さまに広くご負担をいただくこととなりました。なお、「容量拠出金等料金」の単価は毎年適正な価格に見直しいたします。

今後の市場価格はどうなるの？

2023年春以降、市場価格は安定化の傾向にあります。2024年4月以降、容量市場の本格運用が開始し、より安価かつ安定していく見込みです。

<電力市場価格の推移イメージ>



2024年度の容量拠出金等料金は？

2024年度にお客さまにご負担いただく容量拠出金等料金は下記のとおりです。

2024年度 容量拠出金等料金 : 1 kWhにつき、2.75円 (税込)

来年度以降はどうなるの？

毎年、1月末を目途に翌年度の容量拠出金等料金単価を、あかりの森でんきウェブサイトおよびマイページにてお客さまにお知らせいたします。

引き続き、**シナネンあかりの森でんき** をよろしくお願い申し上げます。

各SNSでも様々な情報をお届けしています

- X (旧Twitter) ポポネン【公式】 @poponen2020
- X (旧Twitter) あかりの森でんき事務局【公式】 @Akarinomori2021
- Instagram あかりの森プロジェクト @akarinomori_pj
- Facebook あかりの森 @sinanen.akarinomori.project
- YouTube シナネンあかりの森プロジェクト
- YouTube シナモロール*ポポネン / シナネンあかりの森でんき【Official】

